



TOEIC® Programで未来の可能性を広げる

NEWSLETTER

ニュースレター

インタビュー

俳優 笠松将さん

触れるようにしています。

忙しくても毎日英語に

未来を
変えたい
人に。

Contents

[特集] アズビル株式会社

TOEIC Speaking Test採用企業に聞く!
英語でのコミュニケーション力を高める施策とは

▶ My Career Story
笠松将さん

▶ TALK! わたしが英語を学ぶわけ
「好きこそものの上手なれ!」

▶ HOT WORD
“commencement”

TOEIC Speaking Test採用企業に聞く!

英語でのコミュニケーション力を高める施策とは

ビルや工場の管理システムの企画・開発から販売・メンテナンスまで一貫したサービスを提供しているアズビル。複数の海外拠点をもち、競争力強化のためにグローバル人材の育成にも力を入れています。英語力が必須となるなか、TOEIC Testsを採用する背景とスピーキング重視の教育について、人材育成を担当する3名にうかがいました。

全社をあげた教育施策で
グローバル人材育成を強化

— アズビルでは、人材教育の専門機関を設立されているそうですね。

小枝 「成長の源泉は人材であり、人材の成長なくして会社の成長はありえない」という考えのもと、以前より人材教育を重視しています。2012年に「アズビル・アカデミー」を立ち上げ、新人研修や若手社員への定期研修など、全社員に対し様々なアプローチをしてきました。2022年からは海外の現地法人も含めた全組織に教育プラットフォームを導入し、多様なコンテンツを提供しています。そのうちの1つがグローバル人材の育成です。

栗原 アカデミー創設以前にも、海外との仕事に関心の高い中堅社員向けにビジネスリーダーを育成するプログラムがあり、アズビル・アカデミーの誕生を1つのきっかけとして、教育の間口を広げました。

— 具体的には、どのような取り組みをしていますか。

小枝 たとえば、「アズビル・グローバルイノベーション・セミナー」では、今の自分や組織の課題を考え、それに対する解決策のプレゼンテーションをしてもらうのですが、それらすべてを英語で行います。このようなプログラムを6カ月かけて実施し、英語での提案力やコミュニケーション能力を高めるようなセミナーを展開しています。

栗原 アカデミーが主体となって実施するインターンシップも、社員たちのグローバルな意識を育むきっかけとなっていると感じます。海外の大学生を各部署で受け入れ、一緒に仕事をす

るのですが、学生たちは基本的に日本語が話せません。英語でコミュニケーションを取り、異文化に触れる経験は社員たちに刺激を与え、そこから海外に興味を持つ人がたくさんいます。

石井 社員たちが英語を話す際、たいていは主語述語をきちんと整理し、間違いのないように考えながら話そうとします。しかし海外の学生は、文法などは気にせずどんどん話しかけてきます。それが海外では当たり前で、リアルな英語を肌で感じられるというのもメリットの1つでしょう。

— セミナーやインターンシップの成果や、社員たちの反応はどうでしょう。

小枝 日本にいと、英語を使う機会がどうしても限られてしまいます。セミナーやインターンシップは、自らの英語を試し、磨くチャンスとなっていると感じます。英語に触れ続けるなかで、語学力が高まるのはもちろん、グローバルに活躍するためのコミュニケーション能力も磨けます。そうした個人の成長が積み重なり、組織としての成長につながっていきます。

石井 私もコーチとしてセミナーに参加しているのですが、そこで思うように英語を話すことが難しかった社員が奮起し、独学でも英語を学ぶようになり、セミナーが終わる半年後には見違えるように英語でコミュニケーションが取れるようになるようなケースは本当によくあります。セミナーでの経験がきっかけとなり、グローバルな舞台で働いてみたいと興味を持ち、実際に海外赴任を希望したり、外国人とのやりとりが発生する部署へ異動を希望したりする社員も毎年必ずいますから、影響力があると感じています。

TOEIC Testsが
英語力の成長を実感する指標に

— 英語学習では、長年にわたりTOEIC L&Rを活用されていますね。

アズビル・アカデミー
人材育成グループ
石井 まゆみさん
SEとして経験を積み、2020年よりアズビル・アカデミーに関わる。eラーニングシステムの構築などを担当。

アズビル・アカデミー
副学長
小枝 英孝さん
2008年入社。技術者として経験を積んだ後、経営企画などを担当。2020年よりアズビル・アカデミーに携わる。

アズビル・アカデミー
人材育成グループ
栗原 晴美さん
国際部、人事部を経て2016年よりアズビル・アカデミーに関わる。社員の自己啓発や自律学習をサポートしている。

栗原 1980年代から団体受験を導入し、「社内英語検定」という名目で、全社員に門戸を開いていました。40年ものことですが、グローバルな時代になるのを見越していたのでしよう。

— 2017年にはTOEIC Speaking Testを導入し、現在でも継続して活用されていますね。

栗原 コミュニケーションにおいては、まずは「話す」ことが重要です。スピーキングのテストもいつかはやらなければ……という考えはずっとありました。せっかくTOEIC L&Rのスコアが何十年分もあるのだから、同じTOEIC Testsで採用しようと、TOEIC Speaking Testの導入に至りました。コロナ禍をきっかけに一時的に休止したこともありましたが、テストがオンラインで実施できるようになったことで、2024年から再開したという経緯があります。

— TOEIC Testsは、どのような形で実施しているのでしょうか。

栗原 TOEIC L&Rに関しては、新入社員には毎年4月と9月、そのほかの希望者には2月と8月に実施しています。現在では新入社員には必ず受けてもらうようにしており、そのほかの希望者も多く、年間700名前後が受験します。全社員でいうと、およそ6,000人のうち半数以上はTOEIC L&Rのスコアを持っているはず。TOEIC Speaking Testについては、TOEIC L&Rのトータルスコアが600点以上、またはリスニングのスコアが400点以上の人を対象に行っています。

石井 受験にあたっては、eラーニングによる無料サポートプログラムなど、学習をサポートする仕組みも用意しています。

栗原 新入社員について

は、新人研修でグローバル意識や異文化理解等についての説明を設けたうえで、4月のTOEIC L&Rのスコアをもとに、9月に向けて目標設定を行うような形で活用しています。すでに社内ではTOEIC L&Rが企業文化として根付き、自らの英語力の現在地を知るために毎年必ず受けている社員もめずらしくはありません。また、TOEIC L&Rは「学習すればスコアが伸びる」ものであり、自らの成長をわかりやすく感じられる、1つの指標になっていると思います。

— 人材教育において、今後の目標をお聞かせください。

栗原 アズビル・アカデミーは、「学習する企業体」であるアズビルの社員をしっかりと支える存在でなくてはなりません。そのためには、制度面の検討を含め、社員たちが自発的に学習したくなるような仕組みを整えていく必要があると考えています。会社から「セミナーに参加してほしい」「TOEIC Testsを受けなさい」と言わずとも、社員が思い立ったときに、それにまつわる補助制度や教育プログラムが整っており、学習意欲が湧くような環境の充実を図れるといいですね。

小枝 「人生100年時代」と言われるようになり、現役で働く時間も伸びつつあります。今後長く成長し続けるためにも「自律学習」は1つのキーワードになるはず。自発的に学習したくなる仕組みづくりに加え、モチベーションを高めるようなアプローチも必要になるでしょう。もっと英語が話せるようになりたい、もっと成長したい……。そんなマインドセットを育めるような環境にするには、社員が学習したいときに自由に取り組みめる教育プラットフォームやサポート体制のさらなる充実が、重要になると考えています。

My Career Story

～明るい未来の描き方～



やると決めたらやり抜く。
忙しくても
毎日どこかで
英語に触れています。

俳優
笠松 将さん

1992年生まれ。下積みを経て、2019年には、もっとも多くの連続ドラマ・映画に出演した20代男性俳優に。日米共同制作によるドラマ『TOKYO VICE』では英語での芝居に初挑戦した。3月には『ガンニバル』シーズン2がディズニープラスより配信。

日本で実績を積み、現在、グローバルに活躍する注目俳優・笠松将さん。
多忙を極めるなか、日々欠かさず英語学習に取り組むようになった理由とは？

努力というより責任感で 英語のセリフを叩き込みました

高校卒業と同時に、俳優を目指して上京した頃は、根拠のない自信だけに支えられていました。朝ドラ、戦隊ヒーロー、モデル……この先一体どんな仕事に来るんだ？って。もちろん順風満帆に進むわけはなく、エキストラにも引っかけられないのが現実。アルバイト先から、仕事ぶりを認められて正社員に誘われるほど、俳優の仕事はありませんでした。

今はありがたいことに仕事に恵まれてはいますが、心境は以前と変わりません。エキストラに何度も落ちて凹んでいた若い頃の自分と、もっといい演技ができたんじゃないかなって悔しい思いをしている今の自分は地続きで、常に次こそはって思うから、続けられているのかもしれない。同時に「キアヌ・リーブスと肩を並べるには、あとどのくらいかかるのかなあ」とか思っている(笑)。結構、お調子者なんですよ。

出演してきたどの作品も自分を成長させてくれましたが、ちょうどコロナ禍に撮影が始まった『TOKYO VICE』はとても思い出深い

です。英語が話せる役どころながら、僕自身の英語力は「ハロー」くらい。でも「英語なんて、方言みたいな感覚で、セリフとして丸ごと覚えたらいいだろう」と思っていて、英語を学ぶ必要性を感じていなかった。ドラマを観た人から「すごく努力されたんですね」って褒められたりもしますが、ほぼ責任感からです。なぜなら僕の横に100人くらいのスタッフと先輩俳優の皆さんが立っているんですよ。あの状況で「セリフを覚えてません」とか「発音が難しくて」なんて言えません。僕がやらなきゃ皆さんが帰れない。努力とか高尚なものじゃなく、プレッシャーに煽られて、必死にセリフを覚えた感じでした。

『TOKYO VICE』が転機になり、海外の製作陣から興味を持ってもらえたんです。トータル50人くらいとミーティングしたかな。通訳を挟んで会話をすると、皆さん優しい。「英語が話せなくても問題ないよ。そういう時代じゃないし」ってニコニコしてるんです。そんななか、ある有名プロデューサーが、僕が英語を話せないと知った瞬間、みるみる関心を失って、「今ちょっと注目されているかもしれないけど、英語ができないとハリウッドではまったく通用しないよ。あなたが今の自分を変えたその先で会えるのを楽しみにしてるから」って、たった数分でオンラインミーティング終了。パソコンの真っ黒い画面に映る自分の顔を今でも忘れられません。

最初は開き直ってたんです。「しゃべれないんだから、しょうがないし！」って。でも、そういう態度を見直して、その日から毎日、英語の勉強を続けています。

ゼロから一步踏み出せば あとは走り続けるのみ！

勉強は試行錯誤ですね。まず中学の英文法から每晚喫茶店で勉強し直しました。でも全然しゃべれない。だから、文法だけじゃダメなのか、発音の勉強もやるかと音声聞いて、なんとなくわかるんだけど、まだしゃべれない。次に文の構造がわからないからなのかとも思い、また英文法に戻る。「現在進行形で表す未来って

なんだよ!？」とテキストに八つ当たりしながらがんばる。それでもしゃべれない。こうやって、壁にぶつかったときは違う方法を考えたり、前に勉強したところに戻ったりしています。

がんばる日のメニューは、英語で日記を書いたあとに、オンライン英会話をして、英語の動画を観たり。忙しいときも、すきま時間を使って、日本の漫画を英語で読んだりしています。一步踏み出したらとにかく続ける。やる気に油を注ぎ続けるんです。海外での撮影は、僕にとっては語学留学みたいなもの。手元に10の英語力があるとして、それを資本に海外で一気に20に増やす感覚です。また20を日本に持ち帰って、地道に25くらいにして、再び海外で50にする。その繰り返しです。

俳優を目指す前の僕は、失敗しない安全な道を選ぶことばかりを考えていました。でも、エキストラに何度も落ちて、恥ずかしい思いをたくさんして、英語も毎日「わからん！」って頭を抱えながらわかったことは、できないという状態は「点」でしかないということ。動けば点は線になって、やがて形になっていく。でも点のままだと形にならず、なにも得られない。1年前の自分を振り返っただけでも「あのときに比べたら英語わかってるじゃん。成長してるじゃん」って思えるんですよ。今では、できないことがあるのは、豊かなことだと思えるようになりましたね。



》》 笠松 将さんのキャリア「これまで」と「これから」

高校卒業とともに上京。俳優を目指すか、エキストラにも落ち続け、アルバイトに励む日々

21歳頃、本格的に俳優として活動の幅を広げる

28歳頃、長編映画初主演を果たす

30歳頃、アメリカ大手エージェンシーCAAと契約

海外に飛び出て広く活躍中。2024年は1年の半分を外国で過ごす



家族、友だち、ファンなど周りにいる人全員を幸せにするために仕事をする。英語の目標は「英語で口げんかできるレベルになること」

TALK!

わたしが英語を学ぶわけ

[第2回 トークテーマ]

好きこそものの上手なれ!

様々な英語学習者の実態を探る連載2回目。今回は「人とのコミュニケーションが好き!」という思いが英語学習のきっかけになったお二人が登場。学習のノウハウや、英語習得で広がった可能性などについてトークしました。



メディア企業勤務 **室井 梨那**さん

大学受験以降の英語学習歴：9年／英語使用頻度：週2～3回程度
大学時代にアメリカに1年間留学。帰国後はメディア企業で海外事業展開、教育支援に従事している。2023年にはIBC主催のアワードを受賞。

室井 私は、高校までの文法中心の英語にずっと苦手意識を持っていたんです。でも大学に入り、留学生と交流するラウンジで片言で話すうちにコミュニケーションの楽しさに目覚めました。そこから英語で話すのが大好きになり、勉強を本格的に始めて、英語や留学経験を活かせる今の会社に入社。今は、主にカフェスタイルの学習会「英会話カフェ」の企画・運営などを担当しています。

後藤 私は、大学時代に海外でのフィールドワークやインターンなどに参加していましたね。その後、もっと世界中の人たちと話してみたい!と参加したのが「世界青年の船」という内閣府主催の青年国際交流事業です。12カ国から集まった人たちと約1カ月間の船旅をしたのですが、そこで知り合えた人たちとの会話がとても楽しかったんです。彼らとずっと深く対話したいと思い、スピーキングの勉強に力を入れました。

室井 海外の友人たちとの交流から英語好きになったところが、私たちの共通点ですね。私が1年間留学したアメリカでは、個人の考え方を尊重する文化があって、「私は今こう感じている」と素直に言い合えるという共通認識があるんです。英語なら自分の考えを受け入れてもらえるという安心感がすごいです。

後藤 私も、英語を話しているときのノリがとても楽です。日本では遠慮してしまうような込み入った話も、率直に言いやすいところがいいですね。母語は違っても、英語でこれが好き、これがいいよねといった話をしていううちに仲良くなれて、人によっては日本人同士よりもすごく距離が近くなることがうれしいです。

室井 そうですね。私も大学時代に留学生と話しているうちに、日常生活と勉強の垣根がなくなって「英語を学ばなければ」



市役所勤務 **後藤 真実**さん

大学受験以降の英語学習歴：6年／英語使用頻度：週1回程度
学生時代に大学や政府の国際交流プログラムに参加。社会人になってからは英語力を定量的に示す指標としてTOEIC L&Rを受験している。

という感覚が消えました。ファーストフード店でアルバイトをしていたときも、店内にあるものを全部英語で言えるようになると思って自分流のメモを取ったりして、すごく楽しかったです。

後藤 私は、英語の勉強をきちんと始めたのは社会人になってからなんです。仕事をしながらだと明確な目的があったほうが学習を継続しやすいので、1年ほど前から定期的にTOEIC L&Rを受けています。今の仕事では英語を使う機会はほとんどないのですが、先日、勤務先で、フランスの姉妹都市市への青少年派遣事業の引率者として選抜されて、先方とのやりとりや現地での英語通訳を任されました。私の英語の学習歴を見て選んでいただけたようで、うれしかったですね。

室井 英語は世界を広げてくれる、ハッピーなツールですよ。私は生涯英語を味方につけて、もっと自分を生きやすくなりたいと思っています。私が4技能で1番得意なのはやはりスピーキングで、今後も伸ばしていきたいんですけど、レベルを上げるには、ほかの3技能もまんべんなく必要だと気がきました。スピーキングを軸にしながら、リスニングとリーディング、ライティングもしっかり伸ばして、英語力をさらに高めていきたいです。

後藤 海外の友人と接していると、日本のカルチャーや精神性に興味を持っている人が多いんだと感じます。今後、日本の魅力をより深いレベルで発信していけたらいいなと思っています。そのためにも通訳案内士の資格取得を目標にしている、TOEIC L&Rで900点以上あれば英語科目試験が免除されるので、まずはそこを目指しています。今日は室井さんとの共通点をたくさん発見できて楽しかったです。お互いに英語学習、がんばりましょう!

HOT WORD

“commencement” [kə'mensmənt]

難 度



意味 ▶ 卒業(式)

日本では年度末を彩る行事の1つである卒業式。アメリカでは、大学や高校の卒業式を“commencement”と呼ぶことがあります。本来「開始」や「始まり」を意味し、「卒業は新たな旅立ち」という考え方から、卒業式を指すようになりました。“commencement ceremony”と言うこともできます。また、“commencement speech”や“commencement address”（卒業式のスピーチ），“give a commencement speech”（卒業式のスピーチをする）という言い回しも覚えておきましょう。ちなみにアメリカの卒業式は、5月から6月に実施されるのが一般的です。

動詞の“commence”は“begin”や“start”と同じ意味で、ビジネスシーンでは“commence a new project”（新しいプロジェクトを始める）などの使い方があります。

使い方例

I attended the commencement ceremony yesterday and was very impressed by the commencement speech of a famous entrepreneur.

昨日の卒業式に出席して、有名な起業家の卒業スピーチにとっても感銘を受けました。



Illustration: 木田佳世



早川 幸治 (Jay) さん

英語セミナー講師。自身の英語学習で身につけた上達のプロセスを体系化し、これまで全国200以上の企業で英語研修を担当。TOEIC L&Rスコアは990点。

TOEIC® Program Q & A

Q 公開テストの結果が出るのに時間がかかるのはなぜですか？

A 公平性を担保するために必要な採点プロセスがあるからです。

TOEIC Programは「誰にでも公平なテスト」であることを重視しています。そのため、公開テスト実施後の採点に進む前に毎回必ず、問題がきちんと機能したかを1問ずつ分析しています。具体的には、テスト開発元のETSの心理測定学者が、全受験者の解答データを統計学的見地から検証し、受験者集団の属性(性別、年齢など)の違いによって有利不利に働く(バイアスがある)可能性のある問題が発見された際には、問題制作者と共にレビューを行います。レビューの結果、バイアスがあると判断された場合、その問題は採点対象から除外されます。ETSでは採点前に、こうした一定の時間を要するプロセスを踏むことで、テストの公平性を担保しています。そのため、公開テストの結果が出るまでにある程度の時間がかかるのです。



[INFORMATION]

- 2024年度は過去最多の応募数に

「第16回IIBC高校生英語 エッセイコンテスト」表彰式を開催

IIBCが主催する高校生を対象にした英語エッセイコンテストの表彰式が行われました。異なる価値観やバックグラウンドを持つ人との交流から学んだことを英語で表現することを目的に2009年より開催されています。今回のテーマは「つながる心、広がる世界～コミュニケーションを通じた響きあい～」でした。個人部門、団体部門のいずれも過去最多の応募となりました。

表彰式に出席した受賞者の皆さん



コンテストおよび
表彰式の詳細は
こちら



- 文部科学省の事業に採択されました

「高校生のための学びの基礎診断」 にTOEIC Bridge® Testsが認定

「高校生のための学びの基礎診断」とは、高校段階における生徒の基礎学力の定着度合いを測定する民間の試験などを、文部科学省が一定の要件に適合するものとして認定する仕組みです。高校生に求められる基礎学力の確実な習得とそれによる学習意欲の喚起を図ることを目的としています。認定期間を3年間として、2025年度よりTOEIC Bridge Listening & Reading TestsとTOEIC Bridge Speaking & Writing Testsが認定されました。

*toeic bridge.

TOEIC Bridge Tests
中学・高校事例はこちら



- すきま時間で効率よく学べる

『TOEIC®公式教材アプリ限定 サクッとシリーズ』が発売



「サクッとシリーズ」は『TOEIC公式教材アプリ』の新シリーズで、TOEIC L&Rの問題をパート別・難易度別に分け、学習しやすいコンパクトにまとめた教材です。学習時間は5分から15分程度と、すきま時間を使った学習にぴったりです。

TOEIC®公式教材 アプリ限定 サクッとシリーズ



特長

- ① ミニ教材で気軽にチャレンジできる
- ② レベルに合った問題を選べる
- ③ 問題の難易度に応じたプラスアルファの解説付き

今回は、リスニングセクションPart 2(応答問題)とPart 3(会話問題)、リーディングセクションPart 5(短文穴埋め問題)が発売。そのほかのパートは順次発売予定。

※本シリーズは『TOEIC公式教材アプリ』限定のコンテンツのため、ご利用いただくにはアプリのダウンロードが必要です。Part 2、Part 5はいずれも単品での購入価格は550円(税込)、Part 3は770円(税込)です。パートごとにまとめて一括購入すると、割引が適用されます。

アプリの
ダウンロードは
こちら

Google
Play



App Store



IIBC あなたが世界をつなぐ
あなたと世界をつなぐ

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

IIBC公式サイト <https://www.iibc-global.org>
外部からの寄稿や発言は、必ずしも当協会の見解を表明するものではありません。

本誌は公式サイトでもご覧いただけます。

[https://www.iibc-global.org/
iibc/activity/iibc_newsletter.html](https://www.iibc-global.org/iibc/activity/iibc_newsletter.html)

IIBC NEWSLETTER

検索



【お問い合わせ】
広報・CSR チーム pr@iibc-global.org